

～指導の失敗談も併せて紹介～



先生に給食指導の悩みを聞いてみた！

先日「きゅうけんマガジン」内で、3年ぶりとなる給食指導に関するアンケート調査を行いました。今回はなんと！幼児教育・保育施設と学校の先生を中心に、114名もの先生が回答。本資料は調査結果まとめのダイジェスト版です。

1位「好き嫌いへの指導」、2位「指導方針が合わないこと」

Q. 給食指導で1番苦労していることは何ですか？

1位	好き嫌いが多く、偏食の子どもに対する指導	42%
2位	給食指導に対する園や学校の方針、また他の先生との意見が合わない	22%
3位	クラスの残食が多いことに対する指導	9%

※小数点は四捨五入

前回(2022年実施時)と1位と2位が同じ結果となり、やはりこの上位2つの先生がよくある悩みであることがわかります。

失敗談も教えてもらいました

クラス巡回から出る時に「しっかり食べてね！」って言いがちで、それよりか「楽しんで食べてね」とか「よく噛んでね」とかのほうが具体的でよかったかなと思う。

30代女性

栄養教諭



食べるのが遅い子に早く食べようと思えるように、ご褒美をクラスで用意した。しかしプレッシャーが強まり、余計に食べられなくなった。

30代男性

保育士



以前は「食べれば心も安定する」と考えて、できるだけ食べさせる指導だった。クラス同士で食べ残し量を比べたり、給食の様子を比べたりしてしまい、子どもも保育者も緊張していたと思う。

50代女性

園長先生



本資料は今回のアンケート調査のほんの一部の抜粋です。解説記事ではより詳しいまとめや、調査レポートを閲覧することができます。右下のQRコードからアクセスしてみましょう！

詳しい解説記事はこちら！

